

科目名	化学英語 A	英語科目名	English for Chemistry A
開講年度・学期	平成 23 年度・前期	対象学科・専攻・学年	物質工学科 5 年
授業形態	講義	必修 or 選択	選択
単位数	1 単位	単位種類	学修単位 (30+15)h
担当教員	武成祥	居室 (もしくは所属)	電気物質棟 4 階
電話	0285-20-2809	E-mail	wuc @ oyama-ct. ac. jp
授業の達成目標	授業達成目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育目標 (JABEE)	JABEE 基準要件
1. 発音記号を見て英語の発音がわかること。	⑥	(D - 1) (E - 1)	(a) (b) (d(2)) (f) (g)
2. 英語のスペルを見て正しい発音ができること。	⑥	(D - 1) (E - 1)	(a) (b) (d(2)) (f) (g)
3. 可算名詞と不可算名詞が区別できること。	⑥	(D - 1) (E - 1)	(a) (b) (d(2)) (f) (g)
4. 品詞の区別ができ、日本語訳もそれに応じてできること。	⑥	(D - 1) (E - 1)	(a) (b) (d(2)) (f) (g)
5. 主語と述語が分かり、日本語訳もそれに応じてできること。	⑥	(D - 1) (E - 1)	(a) (b) (d(2)) (f) (g)
6. 自動詞、他動詞の区別がつき、日本語訳もそれに応じてできること。	⑥	(D - 1) (E - 1)	(a) (b) (d(2)) (f) (g)
7. 現在、過去、未来のテンスの違いが理解でき、それに合わせた日本語訳ができること。	⑥	(D - 1) (E - 1)	(a) (b) (d(2)) (f) (g)
8. 関係代名詞が表す内容を具体的にすることができ、それを日本語訳の中で論理的に表現できること。	⑥	(D - 1) (E - 1)	(a) (b) (d(2)) (f) (g)
9. 化学英語 300 語を覚えること。	⑥	(D - 1) (E - 1)	(a) (b) (d(2)) (f) (g)
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
達成目標 1~5 に対しては中間、期末試験の関連問題および課題の 60%以上の成績で達成とする。 達成目標 6~9 に対しては期末試験の関連問題および課題の 60%以上の成績で達成とする。			
評価方法			
課題 40%、試験 60%(中間と期末の合計)の加重平均で算出する。			
授業内容	授業内容に対する自学自習項目		自学自習時間
1. テキスト番号 34 (Catalyst)~45 (Alkyl fluoride) (6週) 中間試験	単語調べ、訳文の作成、小テストのための学習		7 1
2. テキスト番号 46 (Cement and concrete)~57 (Application of natural radioactivity) (8 週) 期末試験	単語調べ、訳文の作成、小テストのための学習		7
	自学自習時間合計		15
キーワード	化学英語、発音記号、品詞、主語、述語		
教科書	やさしい化学英語、オーム社、2003		
参考書	1. エッセンシャル化学辞典、東京化学同人、1999 2. 化学英語の活用辞典、化学同人、1999		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	英語 I		
現学年の関連科目	英語 II、卒業研究		
次年度以降の関連科目			
連絡事項			
専門英語の読解力、和訳、英訳、そして、聞くと話すかもこの講義で身につけましょう。積極的に楽しく授業参加しましょう。集中力を高め、レベルアップを目指しましょう。			
シラバス作成年月日	平成 23 年 3 月 8 日		